

報道関係者各位

“ ゼロとデジタルの時代へ ”

Sea Japan 2022

300 を超える出展社を迎え、4年ぶりの開催へ

2022年4月20日-22日 東京ビッグサイト

2022年4月20日、日本最大の国際海事展 Sea Japan が4年ぶりに東京ビッグサイトで開催される。同展示会には、ジャパンパビリオンをはじめ既に300社を超える出展社の参加が決定しており、コロナ禍において長きにわたり制限されてきた大型業界イベントの久々の開催に、業界関係者からの期待が高まっている。

海事産業のためのゼロエミッションとDXに関する最新技術を紹介

地球温暖化対策をはじめ世界規模での環境保護対策が急務となる中、日本でも2020年3月国土交通省によって国際海運のゼロエミッションに向けたロードマップが策定されており、2028年までの「ゼロエミッション船の商業運航」を目指して業界をあげた取り組みが展開されている。また一方で、海事産業が抱える海難事故の減少、個人輸出入の拡大による貿易ニーズの増加、労働環境の改善、労働力不足などの諸問題に対応すべく、自律運航、自動運行、遠隔検査、IoT、AIなどデジタル技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進も業界にとっての欠かせない課題となっている。

Sea Japan2022では今回のメインテーマを「ゼロとデジタルの時代へ」とし、出展社が造船、海運、そして舶用機器のそれぞれの分野でのゼロエミッションとDXに関連する取り組みと最新の技術や戦略を紹介するとともに、併催される多彩な業界セミナーを通じ、様々な角度から海事産業にとっての環境保護対策とデジタル化に関する課題と可能性を探る。

見逃せない日本の海事クラスター「ジャパンパビリオン」

今回の Sea Japan においても展示ホールの中央部には、国土交通省をはじめ産官学の団体で構成される海事クラスター企画委員会によるテーマゾーンと一般社団法人日本船用工業会の会員企業のメンバーズゾーンからなる巨大な「ジャパンパビリオン」が設置される。テーマゾーンでは、「地球と海に優しい技術 -持続可能な GX・DX 社会へ-」をメインテーマに、日本の海事クラスターが保有する高度な技術、研究成果等を世界に向けて発信。10 のテーマ（艦艇、海運、造船、内航・フェリー、船級、ゼロエミッション、海洋開発・洋上風力利用、DX・自動運航、研究テーマ、総合展示）に係る日本の最新技術や製品を紹介する。またメンバーズゾーンには日本の船用メーカー64 社が出展し、国内最高峰の船用技術製品、サービスを発表する。さらにジャパンパビリオンの関連イベントとしては、海事産業における脱炭素化に向けた取り組みを紹介する「船舶海洋技術セミナー」や海上保安庁の測量船の一般公開、そして人材育成を目的に大学生及び先生方を招き見学等を行う学生イベントも企画されている。

最新の業界情報や課題を網羅する業界セミナーを併催

毎回 Sea Japan の大きな魅力の一つとなっているのが政府、業界団体による多彩なコンファレンスやセミナー。今回も合計 60 本を超えるプログラムが用意されており、今年メインテーマであるゼロエミッションや DX は勿論、海外市場トレンドや海洋資源開発など、今、業界が必要とする最新情報が紹介される。

世界初の無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」

注目のプログラムの一つは、会期初日の 13:00 から開催となる日本財団主催による世界初の無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」実証実験の成果報告会。本セッションは、東京ビッグサイト会議棟で開かれる報告会のオンラインでの LIVE 配信が決定しており、日本国内のみならず世界に向けて同時に配信される。

海運、造船の業界リーダーから最新動向を学ぶ！

「Sea Japan 国際会議 2022 / Green × Shipping 日本の成長の道」

会期 2 日目には、海事プレス社とインフォーマ マーケッツ ジャパンによる Sea Japan の恒例の人気プログラムである「Sea Japan 国際会議 2022 / Green × Shipping 日本の成長の道」が催される。基調講演の講師としての参加となる川崎汽船株式会社 代表取締役社長 明珍 幸一氏をはじめ、海運、造船の業界リーダーが集結。パネルディスカッションや講演を通じて、脱炭素への取り組みなど環境保護対策における日本の海事産業の対応を考察する。

<国際会議の講師一覧>

- 川崎汽船株式会社 代表取締役社長 明珍幸一氏
 - 川崎重工業株式会社 常務執行役員エネルギーソリューション&マリンカンパニー
バイスプレジデント兼船舶海洋ディビジョン長 河野 一郎 氏
 - ジャパン マリンユナイテッド株式会社代表取締役社長 千葉 光太郎 氏
 - 三井E & S造船株式会社 代表取締役社長 船津 勇 氏
 - 三菱造船株式会社 取締役社長 北村 徹 氏
 - 一般財団法人日本船舶技術研究協会 会長 田中 誠一 氏
 - アンカー・シップ・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 篠田 哲郎 氏
 - 株式会社商船三井 取締役専務執行役員 エネルギー・海洋事業営業本部長 松坂 顕太 氏
 - 一般財団法人日本海事協会 会長 坂下 広朗 氏
 - 日本郵船株式会社 専務執行役員・自動車輸送本部長 曾我 貴也 氏
- ※2022年2月28日現在

ハイブリッドイベントとして開催

オンラインでのマッチメイキングサービスも導入

コロナ禍において普及したオンラインでのコミュニケーションツールは、急速に我々の生活に浸透しそのビジネススタイルを大きく変化させてきた。そういった中、今回の Sea Japan 2022 にも、出展社情報を事前にオンラインで配信するウェビナーやリアル展に向けて商談予約がとれるマッチメイキングサービスなど、新たなオンラインサービスが導入される。

主催者であるインフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社 代表取締役 クリストファー・イブ氏は、「すべての参加者の皆様に Sea Japan を今まで以上に効率的かつ効果的に活用していただく手段として、また、渡航制限や移動制限のためビッグサイトにお越しいただけない方々のためのイベント参加手段として、新たなオンライン機能の導入を決定した。特に会期に先立ち3月28日より利用いただけるオンラインでのマッチメイキングサービスは、会期中の商談内容を充実させるためのサービスとしてコロナ前から世界の主要イベントに導入されてきた機能であり、コロナ禍の今、まさに必要とされるサービスだと思う」とした上で、「しかしながら展示会場で実際に顔を合わせ、情報収集や商談を行うことの大切さは、オンラインでのコミュニケーションツールだけではカバーできないこと。実際に会うことでしか生まれないビジネスがある」とし、「ぜひ業界関係者の皆様には、Sea Japan 2022 の会場へ足を運んでもらい、対面から始まるビジネスの重要性を改めて感じてほしい」とコメントした。

Sea Japan 2022 は、4月20日から22日の3日間、東京ビッグサイトにて開催となる。

開催概要

名称：Sea Japan 2022

会期：2022年4月20日（水）～4月22日（金） 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 東5・6ホール

特別協賛：日本財団

後援：国土交通省、（一社）日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、（一社）日本造船工業会、（一社）日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合、（一社）日本海運集会所、（一社）日本船用工業会、（一社）日本旅客船協会、（一社）日本長距離フェリー協会、日本貿易振興機構（ジェトロ）

展示製品

造船／船舶修理／船用工業製品（軸系及びプロペラ、係船・荷役機械、船用ボイラー、冷凍機・空調装置、発電機・電動機、公害防止機器・環境保護、塗料・塗装機器、安全設備・防火設備、ディーゼル機関及び推進装置、ディーゼル機関の部分品・付属品、配電盤・起動器・制御器、電気器具、熱交換機、油圧機器、油処理装置、空気機械、ポンプ、船用タービン、弁・管継手、計器類、船用燃料・潤滑油、操舵・操船装置、錨・錨鎖・ロープ、居住設備、航海計器・通信機器・電波計器、コンピューターシステム及びソフトウェア）／港湾局・港湾管理者／港湾設備・港湾サービス／シップエージェンシー／船用組織・団体／船級協会／商社／出版／他海事製品・サービス全般

▼ 来場事前登録はウェブサイトより(登録無料) ▼

<https://www.seajapan.ne.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

Sea Japan 運営事務局

(インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社内)

担当：平原、関根、久保

TEL：03-5296-1020

Email：info@seajapan.ne.jp

